

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.71》2019年1月発行

## 新春特別号 2019(平成31年)

### ◎ 海外大分県関係の皆さまへ新春のご挨拶



企画振興部長  
岡本 天津男  
(Tetsuo OKAMOTO)

#### 新年明けましておめでとうございます

昨年は、世界各国の温泉地のリーダーや研究者等が一堂に会し、温泉の活用による地域発展の可能性について議論した「世界温泉地サミット」や、「おおいた大茶会」と銘打ち、140万人以上の方が芸術文化を堪能した国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭など、注目度の高いイベントが多く開催された1年でした。また、例年開催している別府アルゲリッチ音楽祭は20回目を迎え、東京公演やローマ公演も行われました。

また、スポーツの関係では、大分トリニータが2013シーズン以来、待望のJ1復帰を果たすという嬉しいニュースもありました。

今年は、いよいよラグビーワールドカップが開催されます。世界中からたくさんの方に大分を訪れていただき、熱い試合が繰り広げられることを大変楽しみにしています。これまでも県をあげて準備を進めてまいりましたが、よりきめ細かなところまで目配りをし、ご来県の皆様に安全、快適に過ごしていただけるよう取り組んでまいります。

海外へ向けての情報発信もしっかり行ってまいりますので、故郷大分の発展のため、皆さま方にはなお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって素晴らしい年になるとともに、一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新春のごあいさつといたします。



# 2018の県政10大ニュース



## 1 「おおいた大茶会」140万人超が堪能 ～芸術文化の華開く～

○皇太子同妃両殿下ご臨席の下、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭開幕  
県民総参加の下、伝統芸能や障がい者アートなど164の多彩な事業を県下全域で展開  
地域の伝統文化や食をめぐるカルチャーツーリズムツアーに646人が参加  
閉会式で県内芸術文化団体が中心となりフィナーレステージ「大分の山々巡行」披露、51日間の大会に幕

(県広報広聴課HP)  
<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10400/iyudainews.html>

## 2 治山・治水対策の抜本的見直し ～災害に強い県土づくりに向けて～

○中津市耶馬溪町金吉地区で土砂災害発生 自衛隊や消防、警察等懸命の捜索を行うも6名の方が犠牲に  
○九州北部豪雨、台風第18号で被災した日田市大肥川や津久見市津久見川等の改良復旧事業を本格化  
○抜本的な治水対策を全国知事会として国に提言、国の防災・減災、国土強靱化の取組加速

## 3 大分っ子の体力全国1位へ ～「教育改革10年」の成果～

○小中学生の体力が男女いずれも九州トップ・全国10位以内を達成、小学5年生男子は全国1位  
○「新大分スタンダード」の効果発現、小中学生の学力も2年連続で全国平均を上回る

## 4 大分トリニータ 待望のJ1昇格 ～スポーツで嬉しい話題続々～

○大分トリニータ 2013シーズン以来6年ぶりのJ1復帰を果たす  
○アジアドリームカップ国際車いすバスケットボール大会 車いすバスケット発祥の地・大分市で開催決定  
○天皇陛下御在位三十周年記念 第38回大分国際車いすマラソン開催  
○男子バレーボールチーム「大分三好ヴァイセアドラー」九州で唯一 国内最高峰「V1リーグ」に昇格

## 5 企業誘致新時代

○集積が集積を呼ぶ企業誘致 好調継続、誘致件数52件で過去最多  
○「姫島IT アイランド構想」着々 立地企業2社の業務開始や車えび養殖実証実験等取組進む

## 6 環境観測衛星「てんこう」打ち上げ成功 ～OITA 4.0 先端技術への挑戦～

○環境観測衛星「てんこう」県内企業4社が九州工業大学との共同開発、県内企業の高い技術力アピール  
○ANA・JAXAと協働 宇宙空間での遠隔操作ロボット「アバター」活用を目指す「アバターXプログラム」参画  
○「OITA ドローンフェスタ2018」県内初開催 最新鋭のドローン(小型無人機)が国内外から集結

## 7 ラグビーテストマッチ大分開催 ～RWC2019に向け準備進む～

○日本代表対イタリア代表のテストマッチ開催 25,824人が日本の快勝を観戦  
○ラグビーワールドカップ(RWC)公認キャンプ地決定、大分会場のプール戦で競う全6チームが県内に  
○世界の名将エディ・ジョーンズ氏「大分・九州ラグビークリニック」等、ラグビーを通じ海外との交流広がる

## 8 「OITA えんむす部 出会いサポートセンター」登録者数1,000人に迫る

○「OITA えんむす部 出会いサポートセンター」開設  
○合計特殊出生率は1.62 全国第10位 2年連続1.6台をキープ  
○保育所等における平成30年4月の待機児童数が13人へ 前年505人からの大幅減少達成

## 9 「おおいた和牛」誕生 ～「The・おおいた」ブランド絶好調～

○「おおいた豊後牛」100年の節目に、新たなリーディングブランド「おおいた和牛」を立ち上げ  
「かぼすヒラマサ」登場「かぼすブリ」、「かぼすヒラメ」に続く第3弾  
オリジナル新品種いちご「ベリーツ」順調 初競りで化粧箱入り12粒に最高10万円の値  
おおいた乾しいたけ 全国乾椎茸品評会で20年連続、通算52回目団体優勝  
平成29年産米の食味ランキング「特A」評価を西部、豊肥で獲得

## 10 世界初「世界温泉地サミット」開催 ～「おんせん県おおいた」世界へ発信～

○世界温泉地サミットに国内外から1,039名参加、温泉文化の魅力、可能性について「サミット宣言」採択  
○外国人宿泊者数139万人 全国第12位、対前年伸び率 全国第1位に

## 駐日チェコ大使が離任あいさつのため来県されました

11月28日に、駐日チェコ共和国大使のトマーシュ・ドゥップ閣下が来県され、知事を表敬し離任のあいさつをされました。知事からは、大使のご尽力のおかげでチェコとの交流がさらに深まった事に対するお礼を申し上げ、大使閣下からは離任後も引き続き本県とチェコとの交流に尽力したいとお言葉がありました。

また、同日夜には大分県チェコ友好協会による「チェコを語る夕べ」及び送別会が開催されました。会員の方々からは、別れを惜しむ声が多数聞かれましたが、閣下から「大分県は大好きな場所で、また来県します」とおっしゃっていただき、大変盛況な送別会となりました。



広瀬知事とトマーシュ大使閣下  
大使館、チェコ友好協会の方々との1枚

## 第4回大分県スタディツアーを実施しました

12月1日、大分県私費外国人留学生奨学生を対象とした「大分県スタディツアー」が実施されました。



今年度4回目となる今回は、宇佐市にある三和酒類、安心院葡萄酒工房を見学し、その後に大分県立歴史博物館を訪れました。

留学生たちは、焼酎や日本酒、ワインの醸造について、とても興味深く話を聞いていました。また、ツアー終了後は、大分の酒造りや歴史についてそれぞれが感じたことをSNSで世界に発信してもらいました。

## JICAボランティアの皆様が副知事を表敬されました

12月18日に、JICAの青年海外協力隊として海外に派遣され任期を終えて帰国された方2名、またこれから派遣される方3名が、帰国・出発報告のため二日市副知事を表敬訪問しました。

「現地では、考え方の違いに苦労した」と語る帰国者に対して、二日市副知事は「その経験を踏まえてこれから日本で頑張ってもらいたい」とし、出発者に対しては「生活習慣や気候、風土が異なる場所で活動するのは大変なこともあると思うが、現地の方々との相互理解を深めてほしい。また日本の良さもPRしてきてほしい」と激励しました。





## 新たにめじろん海外特派員を任命しました！

ホームステイプログラムを通じて大分と香港の交流に寄与していただいている、香港中文大学の蔡穎心(さい えいしん)先生を「めじろん海外特派員」として任命しました。これからどうぞよろしくお願いいたします！

去年の11月に大分県めじろん海外特派員に就任した蔡穎心と申します。香港中文大学で講師を務める傍ら夏交流プログラムも担当しております。毎年犬飼町わかあゆ国際交流会と連携で実施するホームステイ計画は、今年で22周年を迎えます。日本が大好きで年に何度も日本を旅して回る香港人が多く、グルメや観光を始め、日本文化をもっと知りたいという人も数知れません。この機に香港と大分県の架け橋となり、大分県の魅力や良さを香港人に伝え、交流に努める所存です。



## 海外大分県人会交流掲示板



アメリカ・ロサンゼルス大分県人会の會田会長よりご報告をいただきましたのでお知らせします！

### 會田会長の母校、杵築高校でのご講演

先月11月15日(木)杵築高校が来年度から夏休みを利用してアメリカ西海岸に短期留学生を数名送る『志四会』Projectを始めるにあたり、講演の依頼があったので、『アメリカ諸事情』というタイトルで、アメリカの不思議や特徴、日本との違いや生活様式等についてお話してきました。

1年生約200名を対象とした講演の後で、有志20数名ほどと再度質問会などを行いました。終了後には生徒からさまざまな質問も出され、大変盛り上がりました。



### 忘年カラオケ大会

昨年に引き続きトランス市にありますBridge USAのカラオケルームにて、総勢16名の参加で忘年カラオケが行われました。今年は昨年100周年記念式典にて美声を披露されたオペラ歌手のトーマス・ムーニイさんも参加されカラオケを披露されました。なお大分の鶏飯やお寿司なども奥様方から振る舞われ大分焼酎と共に夜が更けて行きました。



## 市町村からのお知らせ【中津市】

### 「ひがた美人」の季節がやってきました！

日本三大干潟のひとつである中津干潟で、山国川の豊かな恵みを受けながら大切に育てられた中津のブランド牡蠣「ひがた美人」。オーストラリアの養殖技術を取り入れて、日本で初めて干潟での養殖に成功した牡蠣です。プリッとした身と濃厚で鮮烈な甘さが特徴です。

現在、国内外で知名度が上がり、出荷量も年々増加しています。飲食店などで「ひがた美人」を見かけた際はぜひご賞味ください。



### コスモス祭り、かかしワールドが開催されました！



西日本最大級を誇る「三光コスモス祭り」も今回で12回目。三光コスモス園には、地域のみなさんの愛情を受けて育った約3,000万本のコスモスを見ようと、市内外より約10万7千人が訪れました。

また、こちらも今回で12回目となった「やまくにかかしワールド」。稲刈り後の田んぼを利用して、山国町各地にかかしが出現しました。イベントの期間中、約4万8千人の観光客が訪れました。

### 台湾台中市との交流を深めています！

中津市は、台湾台中市との間で「サイクルツーリズム及び観光友好交流の促進に関する協定書」を締結しており、観光情報の共有を行い相互に情報発信をするなど交流を進めています。

今年度は、官民一体となって総勢41名の「中津市台中訪問団」を結成し、11月3日から開催された「台中フローラ世界博覧会」の視察とあわせて台中市政府を表敬訪問したほか、経済界との意見交換も行った交流促進を図りました。



【中津市総合政策課】



**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（12月）

News

## 【12月1日(土)】 期間限定 日田～湯布院をつなぐ高速バス

1日、高速バス「日田～湯布院線」の運行が始まりました。日田バスと亀の井バスの共同運行で、2019年3月までに期間限定です。由布院駅前バスセンターと日田バスセンターを約1時間で結び、1日5便（由布院駅前バスセンター発2便、日田バスセンター3便）の運行です。日田バスセンターでは、1日に記念イベントが実施されました。

News

## 【12月9日(日)】 女子フェンシングで日本一！

フェンシング全日本選手権個人戦の決勝が9日に東京で行われ、大分市出身の江村美咲選手(20)が初優勝を飾りました。フェンシングの中でもサーブルという突き・斬りで戦う種目で圧倒的な強さを発揮し、東京オリンピックでも金メダルを取りたいと目を輝かせました。

News

## 【12月20日(木)】体カテスト 小5男子が全国トップ

20日に、今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が公表され、大分県の小学5年男子が実技合計点で全国トップとなりました。同女子は3位、中学2年男女が6位と8位でいずれも過去最高を記録しました。2008年度は各学年男女とも30～40位台と低迷していましたが、10年で飛躍的に向上しました。体育専科教員の配置や、児童・生徒が昼休みなどに体を動かす「1校1実践」などの取組みが成果を出しています。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

## 「大分で会いましょう。」プロジェクトからのお知らせ

全国から多彩なゲストを迎えて、大分各地で楽しいおしゃべりを繰り広げるスタジオトークとツアーのシリーズ「大分で会いましょう。」。大分で活躍する人たちと交流し、そこから新しい企画も生まれる、リアルな情報発信局です。

第6回目のライブ配信は1月25日(金)に行います。今回のテーマは「仕事」。ゲストには、編集家の紫牟田伸子さんと、コスチュームアーティストのひびのこづえさんのお二人をお迎えします。ハイクオリティなデザインとクリエイションの世界で活躍するゲストが、大分を代表する温泉地・由布院のホスピタリティを堪能する旅にぜひご期待ください。



「大分で会いましょう。」ライブ配信

【ゲスト】紫牟田伸子(編集家)、ひびのこづえ(コスチュームアーティスト)

【配信予定日時】1月25日(金)19:00～

ライブ配信はこちらからご覧いただけます。 <https://oita.love>

【広報広聴課】

# From our Reporters



## 県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



金 眞雅  
(Kim Jina)

今年の課の忘年会は明洞という韓国料理店で行われました。久しぶりに辛い物を食べて嬉しかったのですが、この日のメインはビンゴゲームでした。景品は1等から順番にトキハの商品券、温泉券、スタバカード、ビール券、映画券、図書カードなど。普段くじ引きやゲームなどにすごく弱いのに、この日はなぜか最初にリーチとなり、よりドキドキしてきました。

でも、案の定私より先にビンゴした人が続々始めて、早くも私の目当てだったスタバカードの順番になりました。2枚のうち残り1枚となったときやっと私もビンゴになり、喜びながらビンゴと叫んだら、同時にビンゴした人がいて、結局じゃんけんをすることになりました。見事に負けてしまい、一番欲しくなかったビール券をもらいました。この展開に思わず笑い泣きしましたが、最後に課長が交換してくださって無事にスタバカードをゲットできました。一生忘れられないビンゴゲームでした。



セーラ・バックレイ  
(Sarah Backley)

11月23日は「サンクスギビングデー」、又は「感謝祭」の日でした。毎年11月の第4木曜日に行われる、過去1年間の収穫やその他の祝福を祝うアメリカとカナダの祝日の一つです。歴史的には、17世紀にイギリスからアメリカに移住したピルグリム達の最初の収穫を記念する日なので、最近耳にはしますが、イギリスで感謝祭を祝ったことはありません。

しかし、ほぼ全ての大分の親友がアメリカ人なので、今年は12月に遅れて祝うことに決め、私の初の感謝祭経験でした。30人でホルトホールのキッチンを借りて、4時間を渡って七面鳥などの伝統的な感謝祭料理を皆で作りました。普段は家族と過ごす重要な日を大分の第二家族と一緒に楽しんで見て、私も幸いでした。



方 応梅  
(Fang Yingmei)

先日再び宇佐神宮に行ってきました。八月にも宇佐神宮に来たことがありますが、夏の宇佐神宮と全然違って冬の宇佐神宮はゆかしくて神秘的な雰囲気溢れています。皇室も伊勢の神宮につぐ第二の宗廟としてご崇敬になり、勅祭社16社に列されています。また、一般の人々にも鎮守の神として広く親しまれてきました。この日は寒くて雨なのに、しとしと降っている小雨の中を神宮を参拝しに来る人もたくさんいて、本当に驚きました。静かに神宮を守っている威圧感がある狛犬を後にして、階段を上って行くと、落ちた楓の葉が階段を敷いて静謐で哀れな美が感じます。もっと奥へ行くと、三之御殿が出ます。八幡大神、比売大神、神功皇后を祭る三之御殿がとてもきれいで立派な建物です。寒さがひしひし身に伝えながら神宮を遊覧することも別様の体験じゃないかな。今度は紅葉が咲き盛る時に行って見たいと思います。



シェ シンラン  
(Xie Xin Lan)

同僚に子供っぽいと言われたが、ガチャガチャ回すことが趣味です。先日、大分県立博物館に行ったときに、入口の近くにガチャガチャが用意されて、とても喜びました。しかも、埴輪と土偶、土器、青銅器といったような博物館にふさわしく個性的なコレクションが整列されて、どちらを選ぶか迷ってしまったが、長い葛藤の末、「日本の狛犬」のガチャガチャをひねることにしました。

そうすると、一発で山梨県の「熊野神社型はじめ狛犬」を手に入れることができ、もう一回ひねったら、滋賀県の「大宝神社型狛犬」が出てきました。ただいま、凛々しい表情を持つ大宝神狛犬と微笑みを浮かぶような表情を持つ熊野神社狛犬が両方を机の上に並んでいて、趣のある光景を映し出します。このような面白いグッズを、歴史博物館や美術館などの施設でもっと売ってほしいと思います。



### ～編集後記～

昨年末に別府クリスマスHanabiファンタジアを観覧しました。25回目となる別府の冬の夜空を彩る風物詩です。空気が澄んだ冬の花火はより一層きれいで幻想的でした。会場のスピーカーは大勢の外国人観光客や留学生で賑わっていました。また、神戸から花火観覧ツアーのクルーズ客船が近くに停泊していて特等席からお客さんが観覧していました。春の日田川開き観光祭や夏の県内各地で行われる花火も見ごたえがあります。機会があればぜひ大分の花火もお楽しみください。

(国際政策課長 徳野 満)

県内の最新の観光情報はこちらからご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)

<https://www.visit-oita.jp/>

### 話題提供のお願い！

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！  
(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野

【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)